

令和3年度

木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会

令和3年度 木祖村教育委員会点検・評価報告書

1	教育委員会関係	3
	(1)教育委員会開催経過及び協議事項等	4
2	学校教育関係	6
	(1)学級編成、児童生徒の状況	6
	(2)通学対策	7
	(3)就学援助費	7
	(4)学校給食	7
3	社会教育、公民館関係	8
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	8
	(2)公民館学級講座実績	8
	(3)木祖村型コミュニティスクール	9
	(4)青少年健全育成関係	10
	(5)読書活動推進関係	10
	(6)芸術文化関係	10
	(7)成人式関係	10
4	社会体育関係	11
	(1)社会体育関係会議等	11
	○体育協会	11
	○村内一周駅伝大会	12
	○社会体育施設使用調整会議	12
	(2)スポーツ団体等	12
	○体育協会(10種目)	12
	○体育協会以外のスポーツ団体	12
	○ジュニアスポーツ団体	12
	(3)社会体育施設利用状況	12
	○木祖村運動場	12
	○社会体育館・弓道場	12
	○学校開放施設	13
	(4)スポーツ大会・教室等	13
	○村民体育祭	13
	○村民登山	13
5	文化財保護事業関係	13
	(1)文化財保護審議会	13
	(2)木祖村郷土館	13
6	木祖村放課後児童クラブ事業関係	14
7	とちのみ保育園関係	15
8	子育て支援センターみやのもり関係	16
9	教育委員会関係委員名簿	18
10	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	19
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会教育)	19
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会体育)	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)	21

1 教育委員会関係

(現状・評価)

- ・ 教育委員会では、令和3年度において10回の定例会議を開催し必要事項を審議、決定し責務を果たしてきた。
- ・ 2月に予定していた総合教育会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
- ・ 小中学校の入学式に始まり各種の学校行事が新型コロナウイルス感染防止のために中止となったり、出席者を制限しての実施となり、令和2年度に続き計画の変更を余儀なくされた。
- ・ 定例教育委員会は、小学校、中学校へ各2～3回の授業参観及び給食試食、行事参観を行うなど学校における児童生徒の様子や教職員と子ども達が関わる様子を直接見ることを大切にしてきた。
- ・ 校長の参加について適宜要請し、子ども達や教職員の様子や運営上の課題等について情報交換すると共に指導の方向について確認し合えるようにしてきた。
- ・ 就学相談アドバイザーが住民福祉課保健師、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制をサポートする形で位置付き、関係部署で対象生を理解すると共に保護者への理解を促すことに大きな成果を上げている。
- ・ 不登校生の対応については、対象生一人一人の状況を把握した上でのケース会議や外部専門機関との連携の必要性について学校と確認し合っている。
- ・ 教員の働き方改革に端を発した中学校教職員の部活動指導について、スポーツ文化活動運営委員会が位置付き、現状把握や将来的な方向を探りながら、総合型地域スポーツクラブへの立ち上げに向けて本格的に踏み出すことになった。
- ・ 総合型地域スポーツクラブ立ち上げに向けてスポーツ推進委員を現状の4名から9名への増員を図り推進体制づくりを行った。
- ・ 信州型コミュニティスクールを中心にした学校への支援体制の進展や、月1回のあいさつ運動も定着し高まりを見せている。地域の学校として、子どもばかりでなく大人も学べる環境づくりをいっそう整備できるようにしていきたい。

(課題)

- ・ 保育園の運営について教育委員会部局に移管されたことを機に、これまで以上に保小との連携について教育委員会でも検討課題と位置づけ、より良い連携のあり方を探っていききたい。
- ・ 村長が設置する総合教育会議については、教育委員のみではなくより広く住民も参加できる形態にし、教育行政や学校の実態に沿った意見を聞ける内容にしていく必要を感じる。
- ・ 今後ますます進む少子化に対応する学校運営のあり方や、築40年となる校舎の方向性、地域住民が直接学校や子ども達に関われる場をさらに増やすための弾力的なコミュニティスクール運営のあり方等について、具体化できるように検討していきたい。

(1) 令和3年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
4月定例 書面会議	4月23日	(1) 木祖村社会教育委員の委嘱について (2) 木祖村公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 木祖村文化財保護審議会委員の委嘱について (4) 令和3年度木祖村公民関係役員について (5) 木祖村立小中学校学校評議員の委嘱について
5月定例	5月13日	(1) もいちど小中学校入学式参加 (2) 令和3年度奨学金貸与について (3) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (4) 令和3年度学校経営概要について (5) 令和3年度小中学校体力向上プランについて (6) 小中教委合同研修会について (7) 令和3年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（千葉大会）中止の件 (8) 郡文化財保護連絡協議研修会（木祖村5/26）中止の件
6月定例 (会場 木祖中学校)	6月26日	(1) 木祖中学校の現況報告（黒沢校長） (2) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (3) 令和3年度私立学校生奨学補助金について (4) 木祖中学校版キャリアデーについて (5) 令和3年度ゲスト講話について (6) 令和3年度非遵行為防止研修計画 ※小中教委合同研修会 頓所本一先生 講演会 「これからもずっと幸せを実感し合える木祖村の為に……」
7月定例 (会場 木祖小学校)	7月19日	(1) 小学校教室訪問・給食試食について感想等 (2) 木祖小学校の現況報告（小河校長） (3) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (4) 木祖中キャリアデー実施報告 (5) 学校評議員会・CS運営委員会報告 (6) 民生児童委員との懇談会兼いじめ防止対策連絡協議会報告 (7) 1人1台端末活用の進捗状況について (8) 成人式（8/14）について (9) 県市町村教委研修総会（10/8）について
8月定例	8月27日	(1) 令和2年度木祖村教育委員会点検評価報告書について (2) コロナ対応の状況について (3) 県教委と市町村教委との懇談会報告 (4) 木祖小学校開校150周年記念事業について (5) 2学期の学校行事について (6) 教育委員会関係行事について
9月定例 10月定例 (会場 木祖中学校)	10月1日	(1) おおとり祭参観 見学をして (2) 9月議会報告 (3) 泊を伴う小中学校行事について (4) 令和3年度全国学力状況調査の結果について (5) 中学生自主学習見守り協力員について (6) 木祖小学校開校150周年記念事業について (7) 平和学習について（10/14） (8) 郡教育関係七団体連絡協議会「陳情書」について

1 1 月定例 (会場 役場→木祖中学校)	11月5日	(1) 小学校マラソン記録会参観・感想 (2) スポーツ推進委員の委嘱について (3) 木祖小学校開校150周年記念実行委員会立ち上げについて (4) 令和2年度芸能祭について (5) 総合教育会議の持ち方について (6) 中学校教室訪問・給食試食会の感想等 (7) 中学校の現況報告 (黒沢校長)
1 2 月定例 (会場 木祖小学校)	12月15日	(1) 小学校教室訪問・給食試食について感想等 (2) 木祖小学校の現況報告 (小河校長) (3) 新型コロナウイルス対応について (4) 通学路安全点検報告 (5) 総合教育会議 (2/25予定) の持ち方について (6) 村安全対策協議会 (12/22) について (7) 中学校全校読書会・中3平和学習報告
1 月定例 書面会議	令和4年1月20日	(1) 総合教育会議 (2/25予定) の持ち方について (2) 木祖村総合教育大綱 (案) について (3) 新型コロナウイルス対応について (4) 令和3年度 学校保健委員会について (5) 時間外勤務時間等調査結果から (6) 令和4年度小中学校学級編制案について
2 月定例 (総合教育会議)	2月25日	(1) 総合教育会議 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3 月定例 (臨時)	3月16日	(1) 令和3年度末小中学校関係職員の人事異動について (2) 令和4年度当初の確認事項について

2 学校教育関係

(現状・評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校・中学校は、それぞれ児童生徒の発達段階を見通しての教育目標を掲げ運営をしてきた。目標の中でコミュニティスクールとの連携について「人・もの・こと」との関わりを大切にすると共通に明示し、具現を目ざしている。 ・ 地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携を継続的に進めるために、学校評議員とコミュニティスクール運営委員との合同会議(懇談会)を開き、より目的に合った方向を見いだすようにしてきた。 ・ 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止関連で、参観者を招待する行事が計画どおりには進まず少なからぬ痛手を受けることとなった。 ・ コロナ禍でも新しい生活様式を教職員、児童生徒、保護者がよく理解し取り組んでいただき学校を概ね計画どおり通常に運営できた。 ・ 国の推奨による GIGA スクール事業で配備された児童生徒 1 人 1 台端末を使用しでの学力保障について様々な面から検討に取り組み始めた。 ・ 学校評価を年間計画に位置づけ、結果については学校便りや校長講話による公表を積極的に行い PDCA サイクルに基づき向上に努めている。 ・ ことに中学校の不登校生への対応の仕方について対象生、保護者に加え外部機関との連携を密にしながら取組を継続している。

(課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒数が減少する中、現況に応じ県費職員を確保するなど学校や県教育委員会の力を借りながら最大限の教育条件を整えたい。 ・ GIGA スクール事業により配備された 1 人 1 台端末を今後どのように有効活用していくか課題である。ICT 専科担当加配という形態も含め、現場の教員と共に研修をはじめ、端末を使ってできる学習活動について考え合える体制を構築していきたい。 ・ 村費加配の支援員や中学校の数学、英語講師についても継続配置できるよう学校とも連携しながら人材の確保に努めたい。 ・ 長期欠席傾向の児童生徒には、家庭はもとより、外部機関とも連携しながら、ねばり強く継続的に向き合い義務教育修了後の進路が具体的に選択できるように導きたい。 ・ 今後ますます進む少子化の中でどのような学校運営を目指すかは大きな課題だが、村の実情に適った学校のあり方を村全体で考えて行く時期にさしかかりつつあるので、その体制整備について検討したい。
--

(1) 学級編成、児童生徒の状況 (令和3年4月1日実数)

木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1 学年	1	6	7	13	1	7	12	19
2 学年	1	9	9	18	1	8	12	20
3 学年	1	7	14	21	1	14	12	26
4 学年	1	7	13	20	/			
5 学年	1	9	12	21				
6 学年	1	11	10	21				
特別支援	2	5	1	6	2	1	1	2
合計	8	49	65	114	5	29	36	65

前年比-10

前年比-7

小・中学校児童・生徒数の推移と見込

(R4. 6. 1現在)

比率は対令和2年度比

区分	年 度 学 年	2	3	4	5	6	7	8	9
		小学校	18	13	22	8	16	18	11
	2	21	18	13	22	8	16	18	11
	3	22	21	17	13	22	8	16	18
	4	21	20	20	17	13	22	8	16
	5	21	21	20	20	17	13	22	8
	6	21	21	22	20	20	17	13	22
	小計 人	124	114	114	100	96	94	88	85
	比率 %	100.0	91.9	91.9	80.6	77.4	75.8	71.0	68.5
中学校	1	20	19	18	22	20	20	17	13
	2	27	20	19	18	22	20	20	17
	3	25	26	20	19	18	22	20	20
	小計 人	72	65	57	59	60	62	57	50
	比率 %	100.0	90.3	79.2	81.9	83.3	86.1	79.2	69.4
小中学校 総合計 人		196	179	171	159	156	156	145	135
全体比率 %		100.0	91.3	87.2	81.1	79.6	79.6	74.0	68.9

- 1) 小学生、中学生とも今後減少傾向となる。
- 2) 小学生は令和5年度までは100人を保持するが、令和6年度以降100人を割り込む。
- 3) 中学生はここ数年はほぼ60人見込みで推移する。
- 4) 令和9年度には児童生徒数の対令和2年度全体比率が68.9%となり減少が進む見込み。

(2) 通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校5,633千円、中学校6,870千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

(3) 就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計874千円を扶助した。

(4) 学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1人、調理員4人体制で、小学校198日、中学校195日の給食を供給した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、長野県学校給食安心安全対策事業を実施した。地産地消事業として、地元産米の提供や生産者グループ「愛菜」や「きそむら道の駅」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

3 社会教育、公民館関係

(現状・評価)

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により社会教育の根本でもある「人が集う」ことが難しくなったが、社会教育の機会を止めないために、感染症対策を講じた上でできるだけ事業を開催するようにした。社会教育計画に示されている「趣味・特技の向上や木祖村の自然・歴史・文化等を学ぶ学級講座の開講」「子どもから高齢者まで気軽に参加でき、村民同士が触れ合える行事の開催」の主旨に沿った内容で実施した。

文化祭・展示会は感染症対策を講じて実施したが、芸能祭については引き続き従来の開催方法では難しいことから、無観客で撮影を行い、正月に特別番組として木曾広域ケーブルテレビで放映した。

源流図書館は開設13年目となり、昨年度のコロナ禍とともに拡がったステイホームによる図書館需要が落ち着いたことにより、前年比は貸出冊数89%と来館者数87%となった。

(課題)

今年度もコロナ禍によってこれまでの課題であった参加者の減少、男性や若年層の参加率の低さがさらに深刻なものとなってしまった。そのため、すすくく倶楽部と共催し、子どもと高齢者の多世代交流だけでなく、子どもの親世代が社会教育に触れる機会を増やすことで将来的な参加者の維持に繋げていきたい。

分館においては今年度はかねてより課題となっていた、展示会でのわら原分館と薮原分館の社会体育館での合同開催がされることとなった。委員の多忙化や成り手不足の問題は引き続き、わら原分館に限らず、村全体として考えていくべき重要課題であることに変わりない。

源流図書館については開館以降、依然として来館者数の地域差が非常に大きく、利用の少ない地域から来ていただくことが継続課題である。そして、コロナ禍により高まった図書館需要が落ち着きを見せたため、これからも図書館への関心を持ってもらう機会を増やし、身近な図書館づくりを進めていきたい。

(1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

令和3年度 社会教育・公民館関係の主な会議・事業一覧

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数
4月9日	木曾郡公民館運営協議会 定期総会	大桑村公民館	2
4月16日	公運審・正副分館長主事合同会議	木祖村役場	19
5月21日	木曾郡社会教育委員連絡協議会定期総会及び研修会	南木曾会館	書面開催
6月8日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会及び研修会	総合教育センター	2
6月16日	長野県社会教育委員連絡協議会総会	オンライン	2
9月16日	長野県公民館大会	オンライン	1
11月6～7日	第48回木祖村文化祭 展示会	村内	609
11月7日	第60回木曾郡公民館大会	王滝村公民館	欠席
11月28日	第48回木祖村文化祭 芸能祭(収録)	村民センター	50
1月2日	令和3年度木祖村成人式	村民センター	35

(2) 公民館学級講座実績

新型コロナウイルスにより25講座のうち5講座は完全に中止となり、昨年度よりも実施できた事業は多かったものの、中学生と研修旅行や餅つき大会といった大人数で長時間の密や飲食を伴うものは変更や中止を余儀なくされた。そんな中、農作物づくり教室、おとなのスキー教室、松本手毬づくり教室は新たに開講することができ、来年度も開催を検討したい。その他、実施できた講座は音楽教室、陶芸教室、手話講座などであった。

実績詳細はP20「教育委員会・公民館学級講座」参照。

(3) 木祖村型コミュニティスクール

(現状・評価)

- ・ 学校は子ども達の教育を向上させる場であると同時に、地域社会の大人達が学ぶ場でもあるという考え方に立脚して、コミュニティスクール (CS) の意義が深まりを見せている。
- ・ もいちど小中学校事業を令和3年度本格的に取り組み始めた。前年度はコロナ禍のために活動できず再スタートの意味合いだったが、やはりコロナの影響が大きく制約された活動となったが、参加者は満足感をもち概ね好評だった。
- ・ 学習活動の中に地域の方々が指導、支援の形で参加することに学校、子ども達には抵抗感がなくなりつつあり、学習活動に地域人材力を活用する良さをお互いに感じられるようになってきている。
- ・ 公民館長をコーディネータとして位置づけ、できる限り学校側に負担がかからないように配意して活動をしている。
- ・ 小中学校環境整備作業についてはボランティアを募り、PTA 親子作業に合わせての校庭の草取りや小学校校内消毒作業を継続して協力していただいている。
- ・ 地元事業所の協力で職業紹介を主とした中学校版キャリアデーが実施できた。

(課題)

- ・ 今後、少子高齢化がさらに進む中で、学校支援ボランティア人材をどのように確保していくかは大きな課題である。
- ・ もいちど小中学校事業のように気軽に参加できる企画運営を考えて行きたい。
- ・ 子ども達のため、学校のためにひと肌脱いでも協力を惜しまない人材を広く求める営みを CS 運営上どのように位置づけるかが課題。同時に協力することが本人の楽しみややりがいにつながるような企画運営を心がけたい。
- ・ 村としては現行の体制で CS 活動を継続したい意向だが、国、県からは学校運営協議会 (学校外から運営委員を充て、学校職員と共に学校運営について協議する CS 組織) を設定し運営することが求められている。そうするためには、何と言っても人材確保が必要となり現在の状況では難点が多く課題である。

(主な実施事業)

- ・ 社会見学ボランティア ・ 農業体験 ・ 朗読ボランティア
- ・ 校庭草取り作業ボランティア ・ おおとりの時間への指導参加
- ・ 地元事業所を知るキャリアデー協力 ・ 校内消毒作業ボランティア ・ ゲスト講話
- ・ パソコンタブレット活用自主学习見守り ・ 中学校平和学習など

(4) 青少年健全育成関係

7月の県下一斉啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用高校生を中心に啓発活動を実施した。11月の有害環境一斉点検では村内11店舗の小売店・飲食店に協力を呼びかけた。

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数	備 考
5月17日	木祖村青少年育成連絡協議会総会	書面開催		
7月1日	強調月間 啓発活動 社会を明るくする	数原駅	5名	啓発物品145部配布
11月9日	強調月間 有害環境一斉点検	村内	2名	11店舗

(5) 読書活動推進関係

平成21年に開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。ここ5年間の貸出冊数と来館者数から、貸出冊数は1,700冊以上、来館者数は延べ600名前後の基準を保っている。村外からの利用者も見られるようになってきたが、引き続き村内利用の地域差の縮小に努め、読書活動の推進に繋げたい。

運営状況：平日午後1時～午後6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日

令和3年度開館日数：288日 利用冊数：一般1,736冊＋中学生5冊

新規利用登録者(累計)数：数原10(204)名、菅0(35)名、小木曾4(122)名、村外1(6)名

計15(367)名

図書館協力員（有償ボランティア）10名程が半日を単位に交代勤務している。

源流図書館貸出冊数

年度	28	29	30	元	2	3
4月	179	152	150	130	121	135
5月	157	135	167	122	146	114
6月	160	170	184	141	167	116
7月	162	174	178	200	192	149
8月	167	146	150	155	151	138
9月	173	157	174	156	200	149
10月	178	144	190	149	198	184
11月	190	123	185	140	170	157
12月	173	152	172	161	181	190
1月	160	139	167	120	152	154
2月	120	131	140	87	129	93
3月	96	101	119	149	139	152
合計	1,915	1,724	1,976	1,710	1,946	1,731

源流図書館来館者数

年度	28	29	30	元	2	3
4月	54	46	69	41	27	42
5月	66	53	57	43	44	38
6月	57	55	61	58	72	49
7月	51	57	70	70	66	47
8月	51	55	62	71	54	48
9月	60	46	74	53	71	52
10月	60	41	89	53	65	61
11月	66	49	79	55	57	57
12月	58	49	78	69	59	56
1月	54	54	59	55	55	46
2月	60	66	87	46	55	39
3月	31	38	48	57	53	49
合計	668	609	833	671	678	584

(6) 芸術文化関係

第48回を迎えた文化祭展示会と芸能祭は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対策を行った上での開催となった。展示会は当初10月30～31日に予定していたが、衆議院議員選挙により11月6～7日に変更となった。また、今年度よりわら原分館が社会体育館で実施することにより、村内5会場での開催となった。展示会では個人やサークル活動の作品を中心に、公民館・小学生陶芸教室の作品、各分館の企画展示を実施した。コロナ禍や日程の変更の影響により、来場者数は609名とコロナ禍前の約3分の1であった。

芸能祭はケーブルテレビ撮影を行い、正月の特別番組として放映する形での実施となった。撮影は中学校の3団体は学校行事にあわせて、一般の5団体は11月28日に村民センターにて行った。文化祭は日ごろの公民館やサークル活動の発表の場として定着していたが、新型コロナウイルスにより活動を自粛し続けているサークルもあるため、活動や発表の場が失われることのないよう引き続き支援していきたい。そのほか、木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力を実施した。

(7) 成人式関係

成人式は当初、令和3年8月14日を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受け、令和4年1月2日へ延期となった。感染症対策として、祝賀会を取りやめ、来賓は恩師と村議会議員のみと大幅に縮小し、式典のみの開催とした。県外在住者で会場への参列希望者には、PCR検査の陰性証明を以っての参加をお願いした（3名実施）。また、リモート参加ができるようオンライン会議システムも導入した（実施なし）。

開催日時・場所：令和4年1月2日 午後1時30分～午後2時30分 村民センターホール

対象者：平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの木祖小中学校卒業生および村内在住者22名

出席者：成人者17名、恩師4名、来賓1名、主催13名 計35名

4 社会体育関係

(現状・評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「体力アップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」、「水中運動教室」を行った。コロナ禍による影響もあったが登録人数・延参加者は増加した。小学生を対象とした「すくすく倶楽部」については学校児童の70%以上の子どもが登録された。今年度もコロナ禍により活動計画の約6割の活動となってしまった。コロナ禍ではあったが開催した活動には多くの児童が参加し体を動かしたり体験をすることができた。

源流トラッククラブは40名を超える登録者で基礎体力作り、運動能力の向上を目的に活動をしている。新型コロナウイルスにより活動できない期間もあったが、開催された大会には大勢参加することができた。

第63回村内一周駅伝大会、村民登山、体協各部主催の村民体育祭など多くの行事がコロナ禍により中止となった。

多くの村民が様々なスポーツをする機会を増やし、スポーツを通じて人との交流ができる環境を整え、いつまでも健康に生活できることを目的に総合型地域スポーツクラブ立ち上げに向け動き始めた。

(課題)

源流スポーツ大学の参加者数は若年層の参加者も増え年々増加はしているが、前からの課題である男性の参加者が増えない状況に変わりはない。男性が参加しやすい・参加したい元気な体力づくり、健康な体づくりができる内容の教室を検討していく。

村民の趣味の多様化により、スポーツ団体が増え、個々の団体の構成員が減っていく傾向がある。特に少子化、高齢化の進む中で少年部門の団体が減少し、維持が困難な状況も生じてきている。老若男女誰でも楽しめるスポーツ「ニュースポーツ」の導入なども検討していく。

(1) 社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

○体育協会

令和3年度 体育協会関係会議・事業

月 日	会 議 ・ 事 業 名	開催場所
4月15日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月	木曾郡体育協会定期総会	書面決議
7月25日	木曾郡総合体育大会開会式	大桑村
9月14日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月5日	木曾郡総合体育大会冬季スキー大会	※新型コロナウイルスにより中止
3月18日	村体育協会役員会	役場2F大会議室

○村内一周駅伝大会

第63回木曾川源流村内一周駅伝大会はコロナにより中止。

9月1日・9日付文書により各自治会・監督・代表者へ中止について周知。9月9日付隣組回覧により村民へ周知。

○社会体育施設使用調整会議

令和3年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月19日	使用調整会議（8～11月）	役場2F大会議室
11月19日	使用調整会議（12～R4.3月）	役場2F大会議室
3月18日	使用調整会議（R4.4～7月）	役場2F大会議室

(2) スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に22団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行っており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会（10種目）

スキー部 野球部 剣道部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部
ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バasketボールサークル フットサルクラブ
木祖アズールVC（バレーボールクラブ：小学生から大人）

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部
ジュニアフットサルクラブ

(3) 社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会（剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部）
体協以外（ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・バスケボールサークル）
ジュニア（ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ）
雨天時のみ（学童野球・少年野球）
冬期間のみ（体協野球部・体協ソフトボール部・学童野球・少年野球）
その他 令和3年度は合宿が全てキャンセルとなった。

※夏場は合宿等の利用が多いが、村内スポーツ団体等の利用が出来ない時も見受けられるため、今後の利用方法や村外予約関係についても検討をしていく必要がある。

○学校開放施設

- ・木祖小学校体育館・校庭
利用団体（学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・バスケットボール教室・源流TC）
- ・木祖中学校体育館・校庭
利用団体（ジュニアフットサルクラブ・体協バドミントン部・木祖アズールVC・源流TC）
- ・その他 令和3年度は合宿が全てキャンセルとなった

（４）スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。また、健康づくりの一環として、一般村民向けに健康づくりや身体づくりの教室を開催した。スポーツの日を中心に村民体育祭を開催した。

○村民体育祭

（開催日）

- 教委主催 ソフトバレー大会（共催）※新型コロナウイルスにより中止
フットサル大会（共催）※新型コロナウイルスにより中止
- 各部主催 少年剣道大会・弓道大会・バドミントン大会・ゴルフ大会・卓球大会・マレットゴルフ大会・バスケットボール大会
- ・その他の大会・教室は別途一覧参照（P21）

○村民登山

新型コロナウイルスにより中止

5 文化財保護事業関係

（現状と評価）

文化財保護審議会の活動について、定例会3回（内1回は書面開催）と委員による村内の文化財パトロールを中心に活動を行った。
また、旧村誌編纂室に保管されていた資料の整理を令和3年度に実施した。

（課題）

木曽地域が日本遺産に認定され6年が経過し、今後も文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も引き続き進めていく必要がある。
郷土館等の文化財伝承施設や文化財の掘り起しについて、専門職員の配置がないことから文化財保護審議委員に頼る現状である。今後は学芸員の配置など後世につなげていく体制づくりを検討しなければならない。

（１）文化財保護審議会

審議会の開催（3回）のほか、郡研修会への参加や文化財パトロール（グループごとに随時）など

【審議会・研修会等】

年 月 日	内 容	場 所
令和3年5月12日	第1回文化財保護審議会	役場
中止	木曽郡連絡協議会研修総会	木祖村
令和3年10月26日	第2回文化財保護審議会・村内パトロール	村内
書面開催	第3回文化財保護審議会	-

（２）木祖村郷土館

令和3年度の有料入場者数及び入場料は、下表のとおり。

【木祖村郷土館有料入場者数等】

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
63名	66名	0名	129名
18,962円	13,200円	0円	32,162円

6 木祖村放課後児童クラブ事業関係

(現状・評価)

ここ近年登録人数、一年間の利用平均人数は横ばいである。中学年、低学年の利用が伸びている。
 下校時間前に近日の子どもの姿の共有やその日の活動や気を付けたい事項の打ち合わせ、消毒・換気等を行い、安全に過ごせる環境を整えている。また、月1回打ち合わせ会を開催し、子どもの姿や行事について協議している。その際、専門のコーディネーターを交えた勉強会も行っている。郡内の定例会では情報交換や学習会を行っている。

(課題)

ここ近年、特別な支援を必要とする子どもや子ども同士のトラブルが増えており、支援員としての関わりが難しく負担が大きくなってきている。小学校との情報交換を定期的に行うなど連携の機会をつくり、より有効な支援のしかたについて考えていきたい。

木祖村放課後 児童クラブ利用状況

1. 平成28年度～令和3年度登録児童数

年度 学年	28	29	30	元	2	3
1	12	11	11	14	13	9
2	17	7	10	15	13	12
3	15	7	11	11	18	10
4	6	12	6	11	9	13
5	8	6	4	3	10	6
6	0	5	2	5	1	3
合計	58	48	44	59	64	53

2. 平成28年度～令和3年度開所日数

年度 種別	28	29	30	元	2	3
登校日	207	204	204	192	202	203
長期休	31	32	28	39	35	33
振替休	4	4	6	5	1	4
土曜日	11	11	13	15	13	2
合計	253	251	251	251	251	242

3. 月別利用者数

区分	月													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
平日	日数	18	18	21	14	9	19	20	20	18	15	18	13	203
	延人数	302	249	290	211	108	255	243	283	300	167	202	162	2,772
	平均人数	17	14	13	15	12	13	12	14	17	11	22	12	14
振替休日	日数	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	4
	延人数	-	-	2	0	-	6	1	-	-	-	-	-	9
	平均人数	-	-	2	0	-	6	1	-	-	-	-	-	2
土曜日	日数	1	0	0	0	-	1	0	0	0	0	0	0	2
	延人数	0	0	0	0	-	2	0	0	0	0	0	0	2
	平均人数	0	0	0	0	-	2	0	0	0	0	0	0	1

7 とちのみ保育園

(現状・評価)

・主体性重視の保育活動を取り入れ、設定保育の見直しを行ってきたが、なかなか設定保育環境が抜けきらなかった。
 ・引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防に努めた。園だけの行事は概ね実施できたが保護者参加がある場合は中止にしたり、人数時間制限や方法変更等をして保護者理解を求めた。
 ・園の活動を保護者や地域の方に知ってもらうためドキュメンテーションの研修を受けるなどして、わかりやすい「おたより」作成に励んだ。
 ・木育に取り組み始め、研修に参加したり園児が木のおもちゃに触れる機会を多く取り入れた。

(課題)

・主体性保育の取り入れやドキュメンテーション、木育については引き続き研修会等に参加して全体で環境を整えていきたい。

○運営費関係

保育所運営費は、下表のとおり79,696,473円で、その内人件費は80.8%の64,387,240円となっている。歳入については、保育料及び諸収入が全体の4%、村負担は89.6%となっている。

延長保育利用者は減少しているが、標準時間保育に該当する保護者は増加しているため午後4時半以降も利用している園児は多くいる。

新型コロナウイルス感染症予防のため、空気清浄機を各クラス1台ずつ設置や感染予防物品の購入に国補助金を利用した。

(1) 園児数 (令和4年3月現在)

定 員		80名
入所	未 満 児	18名
	3 歳 児	16名
人員	4 歳 児	8名
	5 歳 児	21名
	計	63名

(2) 運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	保育料・延長保育料	3,174,280円	4.00%
	国補助金	500,000円	0.60%
	県補助金	3,378,000円	4.20%
	村負担分	71,384,025円	89.60%
	諸収入	1,260,168円	1.60%
	歳 入 合 計	79,696,473円	100.00%
歳 出	保育所運営費	78,472,161円	98.50%
	(内人件費相当分)	64,387,240円	80.80%
	施設管理費	1,224,312円	1.50%
	歳 出 合 計	79,696,473円	100.00%

(3) 保育内容

○保育日数 : 291 日

○通常保育 : 平 日 午前8時30分～午後4時30分

○希望保育 : 土曜日 午前8時30分～午後1時00分

○延長保育

・平 日 : 早朝保育 午前7時30分～午前8時30分

延長保育 午後4時30分～午後6時30分

・延長保育料 : 30分 (1単位 50円 : 減免規定有)

・徴 収 額 : 57,500円

・利 用 人 数 : 18名 (延べ利用人数101名、月平均8.42名)

・登 録 世 帯 : 14世帯

8 子育て支援センター

(現状・評価)

・少子化が進む中、保育園への未満児入所者が増えているため、支援センター利用者数としては減少傾向にある。

・育児のストレス等を軽減できるように、保護者がリフレッシュできる講座を中心に開催してきた。講座中は無料託児を行っているので、保護者からは参加しやすいとの声をいただいている。

・母親支援が必要な家庭が多いため、保健師と連携を取りながら利用しやすい環境設定をしたり、専門機関へ繋げていることは、保護者が安心して子育てに向き合える条件整備となっている。

(課題)

・子育てに不安を抱えたまま、一人で悩んでいる母親が増えてきている。

・そうした母親の悩みについては、把握が困難なため本人との相談はもちろんのこと保健師とも連携を取りながら、今後よりこまめな支援を心がけていきたい。

・今後利用者数が減少する中で、行事の開催の仕方についてどのように計画実施していくかが課題である。

○利用状況

子育て支援の中心となる子育て支援センターみやのもりでは、通常の利用者の他、各種講座（ベビーマッサージ・救急法・ママ塾・子育てサロン・歯科、栄養指導）等を実施している。また、母親の心の負担を軽減させるために外部の相談員をお願いし、子育て支援センターの利用者・保育園の保護者を対象に、コーチングカフェ（個別相談）を平成30年度から開催しているが、徐々に定着し令和3年度は7世帯の相談があった。

年2回開催しているおさがり会は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため地域や年齢で時間を分けて行い延べ81組160名の参加があった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大予防により、園開放は中止とした。

一時預かり事業については令和元年度から平日だけでなく土曜日・特例日も行うようになり（午前8時30分～午後1時30分）土曜・特例日の一時保育における利用者は36名であった。

(1) 子育て支援センター関係

- 開所日数：291日《内、土曜日50日》（一時保育を含む）
- 利用総人数：1,424名（一時保育を含む）
- 利用登録世帯数：36世帯 村外者登録料 1世帯2,000円）
- 1日平均利用者：5名
- 利用料(登録料)総額：2,000円

(2) 一時保育関係

- 実施日数：195日
- 利用総人数：355名
- 利用総時間：2,336.2時間
- 利用料総額：799,770円

(3) 子育て支援センター運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	国補助金	4,025,000円	48.30%
	県補助金	3,378,000円	40.60%
	村負担分	122,737円	1.50%
	利用料(登録料含む)	801,770円	9.60%
	歳入合計	8,327,507円	100.00%
歳 出	子育て支援事業費	433,440円	5.20%
	運 営 費	7,894,067円	94.80%
	(内人件費相当分)	6,828,688円	82.00%
	歳出合計	8,327,507円	100.00%

(4) 令和3年度子育て支援センターみやのもり利用状況

月	開所 日数	利 用 総人数	利用者 無し日	なかよし広場（開放）			一 時 保 育					
				平日	土曜日	累計	日数	人数	総時間	時間外		
										日数	人数	時間
4月	25	94	4	33	0	33	14	20	105.0	0	0	0.0
5月	23	97	3	35	4	39	14	20	130.5	0	0	0.0
6月	26	219	6	42	0	42	18	29	249.0	0	0	0.0
7月	25	145	5	67	0	67	18	41	230.2	2	1	0.5
8月	22	100	5	58	3	61	19	26	205.5	0	0	0.0
9月	25	146	2	50	6	56	20	37	184.8	0	0	0.0
10月	26	236	2	75	12	87	20	41	237.0	4	2	2.5
11月	26	136	5	28	4	32	15	34	313.5	3	2	2.0
12月	24	102	5	18	2	20	16	34	171.2	3	1	1.5
1月	22	55	7	14	6	20	12	21	136.5	2	2	1.5
2月	22	29	9	17	0	17	13	21	113.5	0	0	0.0
3月	25	65	8	13	0	13	16	31	159.5	2	5	3.5
累 計	291	1,424	61	450	37	487	195	355	2236.2	16.0	13	11.5

月	行 事							累 計
	教育委員会 共催講座	園開放	年齢別 広場	子育て サロン	各種 講座	ちびっこ 会	その他 (おきがり会・託 児など)	
4月	/	/	34	7	/	/	/	41
5月	/	中止	16	10	12	/	/	38
6月	/	/	11	2	26	/	109	148
7月	/	中止	10	6	21	/	/	37
8月	/	/	0	0	13	/	/	13
9月	/	中止	13	11	29	/	/	53
10月	/	/	0	31	26	中止	51	108
11月	13	中止	20	5	7	10	/	55
12月	/	/	22	7	9	10	/	48
1月	/	/	中止	中止	14	/	/	14
2月	/	中止	中止	中止	中止	/	/	0
3月	/	/	18	6	12	/	9	45
累 計	13		144	85	169	20	169	600

9 教育委員会関係委員名簿

○教育委員

教育長	青木 信一
職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋

○学校評議員

内山 文彦	連合自治会長
奥原 利明	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
笹川 岩夫	元PTA会長
奥原 都美	現PTA代表

○社会教育委員

代表	村井 千秋
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	黒沢 幸喜

○公民館運営審議会委員

委員	木山澤福夫
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	黒沢 幸喜

○文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	青木 正洋
委員	大藏 茂
委員	北川 聰
委員	久保畠賢一
委員	澤頭 修自
委員	湯川 喜義
委員	奥原 由孝
委員	青木 武弘
委員	相渡 弘

○公民館

本館	公民館長	村井 千秋
藪原分館	分館長(副公民館長)	柳川 浩司
	副分館長	川上 敏雄
	主事	岩原 大輔
小木曾分館	分館長(副公民館長)	青木 利徳
	副分館長	草刈 成雄
	主事	寺平 單
菅分館	分館長(副公民館長)	奥原 利明
	主事	加藤 幸司
わら原分館	分館長	田上 利久
	主事	青木 求
吉田分館	分館長	松原 義彦
	主事	青柳 俊郎

○スポーツ推進委員

辺見 元孝
寺平 單
原 智恵
奥原 健
五月日 実
岩原 拓磨
林 翔太
工藤 春香
奥谷 妙恵子

10 木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会教育）

講座名	区分	開催日	内 容	講 師	対象者	登録人数	各参加人数	延人数	参加費	会 場	備 考
家庭教育学級	家庭	2022/9/2 中止	スワッグづくり講座	一ノ瀬 園佳	保育園入園前の子どもと保護者	中止				子育て支援センター	子育て支援センター共催
		10/22	お花のリースづくり講座	島口 今日子			5	5			
		中止	アロマ講座	清水 えり子		中止					
		11/2, 9, 15	入園グッズづくり講座	原 悦子、小垣外 郷江			2, 4, 3	9			
音楽教室	一般	4/28	歌って元気はつらつ	青木 瑞徳	村内一般	12	10	10		村民センター	
県内研修①（諏訪）	一般	6/18→11/18	芸術鑑賞～美術館めぐり～		村内一般	5	5	5	2950円	諏訪周辺	
地域づくり推進研修 「生涯学習推進者 実践講座【中信】」	一般	6/27	総合型地域スポーツクラブで健康な村づくり	岸 裕司	村内一般	21	会場12 オンライン9	21		村民センター	【CS】県生涯学習推進センター共催
ふるさと発見講座	一般	8/3	村の文化財めぐり	文化財保護審議委員	村内一般、小中学生	大人2 小学生11	大人2 小学生8	10		村内	【CS】【人権】
物づくり体験①	一般	8/22	お六揃づくり	北川 聡、柳川 浩司	村内一般、小中学生	4	4	4	2,000円	村民センター	
県内研修②（飯田）	一般	9/2 中止	体験研修～飯田の文化、伝統技術を知る～			中止				飯田市	元善光寺工事のため来年度に実施
中学生と平和学習①	一般	10/14	松代象山地下壕、上田無音館→木祖中学校 戦争体験談から平和への希求を考える	嶋田 次夫	村内一般、中学生	14	14	14		松代町、上田市	【CS】【人権】松代は3年生のみ、1・2年生と中学校で実施
中学生と平和学習②	一般	12/6	戦争体験談から平和への希求を考える	飯島 春光	村内一般、中学生	10	10	10		中学校ランヂルーム	【CS】【人権】
物づくり体験②	一般	12/11→12/4	クリスマスアートづくり	林 愛子	村内一般	10	10	10	1,000円	まめのわきがいづくり室	
物づくり体験③	一般	2/15→3/17	松本手毬づくり	高木 利子	村内一般	2	2	2	2,000円	松本市	土産処たかぎ
おとなのスキー教室	一般	2/2→3/2	初めての方もお久しぶりな方も大人向けのスキー教室	やぶはら高原スキー学校	村内一般	11	11	11	2,500円	やぶはら高原スキー場	
ミニ盆栽教室	趣味	5/30, 7/18, 11/21	自分だけのミニ盆栽を制作	中村 今朝男	村内一般	10	9, 9, 9	27	1,500円	まめのわきがいづくり室	
陶芸教室	趣味	6/10, 6/17, 6/24, 7/15, 7/29, 8/26, 9/2, 9/24, 9/30, 10/7	自分だけの作品づくり 村の展示会、郡シニア作品展にも出品	高木 勇、奥原 利明	村内一般	12	12, 11, 11, 4, 12, 4, 12, 1, 1, 4, 11, 4	96	3,000円	小学校図工室	
	小学生	12/14, 12/16, 1/14, 3/1, 3/4	自分だけの作品づくり 村の文化祭展示会にも出品		小学5、6年生	20, 20	20, 20, 40	80			【CS】【人権】
手話入門講座	教養	10/23	簡単な手話を学ぼう	中澤 久美香、 柳川 悦子	村内一般、小中学生	10	大人8 小学生2	10		村民センター	【人権】
サツマイモづくり教室	一般 小中学生	5/23, 8/19, 10/17	苗定植、つる上げ(大人のみ)、収穫	田原 政利	村内一般、小中学生	大人14 子46	大人13, 9, 9 子46, 34	111		翁俊さん畑	【CS】【人権】すくすく倶楽部共催 収穫祭なし
トウモロコシづくり教室	一般	5/23, 6/22, 8/19	播種、間引き、収穫	田原 政利	村内一般	14	13, 7, 9	29		翁俊さん畑	産業振興課協力
もち麦づくり体験	一般	6月中止	収穫体験	倉内 伸幸、産業振興課	村内一般	中止				村内	産業振興課協力
	一般	10月中止	播種体験		村内一般	中止					村内
もちつき大会	一般 小中学生	12/12 中止	子どもたちに餅つき体験	分館役員	村内一般、小中学生	中止				村民センター	新型コロナウイルス対策のため中止 【CS】【人権】すくすく倶楽部共催
地域図書館講座	一般 小中学生	8/4 →中止	和太鼓演奏会	和太鼓団体TAKARA	村内一般、小中学生	中止				源流図書館	出演者都合により中止
天文学セッション	一般 小中学生	11/21	天体観望、4D2U（4次元宇宙）体験会	東京大学天文学教育研究センター木曾観測所	小中学生、保護者	31	小学生22 保護者4	26		菅公民館	すくすく倶楽部共催 木曾文化公園、木曾観測所共催
ブックスタート	家庭	10ヶ月健診時	絵本の配布	NPO法人ブックスタート	乳児検診受診親子	12	12	12		保健センター	住民福祉課共催

※CS…コミュニティスクール事業

木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会体育）

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数等	内容	参加費	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生	85名（登録数）	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	22名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500	社会体育館	7回開催 源流スポーツ大学
体力アップ教室	健康	8月～10月	辺見元孝	村民一般	14名	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	26名	エアロビクス		小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～9月	神成忍	村民一般	22名	ストレッチヨガ		社会体育館	12回開催 源流スポーツ大学
水中運動教室	健康	5月～12月		村民一般	10名	水中運動	600/1回	木曾町温水プール	20回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	2～3月新型コロナウイルスにより中止 源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年 中学生	37名 12名	陸上大会及び体力アップをめざした練習		小学校校庭 小・中学校 体育館	
第19回ソフト バレーリーグ戦	体育	5月～11月		村民一般		総当たり戦	1チーム 500	社会体育館	新型コロナウイルスにより中止
村民体育祭 ソフトバレー	体育	10月		村民一般				社会体育館	新型コロナウイルスにより中止
村民体育祭 村民登山	体育	9月		村民一般					新型コロナウイルスにより中止
村民体育祭 フットサル	体育			村民一般		総当たり戦		社会体育館	新型コロナウイルスにより中止
村民体育祭 ゴルフ	体育	10月31日		村民一般	47名			木曾カントリー	
第63回木曾 川源流村内 一周駅伝大会	体育	11月3日		村民一般		村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	新型コロナウイルスにより中止

木祖村教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)

すく～る・スキー

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月24日(土)	すく～る(全学年)①	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催しました。	40	2
2	5月8日(土)	すく～る(全学年)②	小学校体育館	〃	38	1
3	5月29日(土)	すく～る(全学年)③	小学校体育館	〃	31	1
4	7月17日(土)	すく～る(全学年)④	小学校体育館	〃	56	1
5	7月24日(土)	すく～る(全学年)⑤	小学校体育館	〃	47	0
6	8月28日(土)	すく～る(全学年)⑥	小学校体育館	〃	新型コロナウイルスにより中止	
7	9月4日(土)	すく～る(全学年)⑦	小学校体育館	〃	新型コロナウイルスにより中止	
8	9月11日(土)	すく～る(全学年)⑧	小学校体育館	〃	新型コロナウイルスにより中止	
9	10月10日(土)	すく～る(全学年)⑨	小学校体育館	〃	19	0
10	1月16日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶはら高原スキー場		新型コロナウイルスにより中止	
11	1月23日(土)				新型コロナウイルスにより中止	
12	1月30日(土)				新型コロナウイルスにより中止	

231

5

物づくり体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	6月27日(土)	サンドブラスト体験 (午前低学年・午後高学年)	村民センター		新型コロナウイルスにより中止	
2	8月7日(土)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しました。	21	1
3	8月21日(土)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しました。	22	0
4	11月6日(土)	クッキング① (1・3・5年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦しました。	23	1
5	11月13日(土)	クッキング② (2・4・6年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦しました。	20	1
6	2月19日(土)	閉講式	村民センター		新型コロナウイルスにより中止	

86

3

野外活動・体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月17日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	社会体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行いました。	56	1
2	5月17日(日)	芋づくり体験(苗定植) (※公民館一連企画)	小木曽地区	さつまいもの苗を植えました。	45	1
3	6月5日(土)	あやめ池イベント	あやめ池	カエデの植樹や自然観察会を行いました。	36	1
4	6月20日(土)	釣り教室	こだまの森	こだまの森の溪流釣り場で釣り体験をしました。	51	1
5	7月28日(水)	デイキャンプアウトドア体験 (高学年対象)	こだまの森等		新型コロナウイルスにより中止	
6	8月1日(日)	和太鼓	小学校体育館		新型コロナウイルスにより中止	
7	8月3日(火)	ふるさと発見講座 (高学年対象)	村内	史跡など見学しながら講師の方のお話を聞きました。	9	0
8	8月8日(日)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曾湖		荒天により中止	
9	10月17日(日)	芋づくり体験(収穫) (※公民館一連企画)	小木曽地区	さつまいもの収穫を行いました。	34	0
10	11月21日(日)	宇宙遊泳体験&天体観望会 (高学年対象)	菅公民館	宇宙遊泳体験や天体観察をしました。	20	1
11	12月12日(日)	餅つき体験 (※公民館一連企画)	村民センター		新型コロナウイルスにより中止	